平成２９年第９回大仙市教育委員会定例会議事録

平成２９年第９回大仙市教育委員会定例会を平成２９年９月２９日（金）午後４時から大曲図書館において開催した。

出席者

教育長　吉　川　正　一
委　員　風　登　森　一
　　工　藤　浩　一
　　中　島　　康
　　髙　見　文　子

説明員

教育指導部長	伊　藤　雅　己
生涯学習部長	安　達　成　年
教育総務課長	判　田　　基
教育指導課長	高　野　一　志
教育研究所長	佐　藤　厚　子
生涯学習課長	佐　藤　正　道
文化財保護課長	加　藤　　実
スポーツ振興課長	伊　藤　優　俊
学校給食総合センター所長	杉　山　光　行
総合図書館長	冨　樫　武　彦
総合市民会館長	今　井　　聰
花館公民館長	寺　村　彰　浩
神岡中央公民館長	黒　川　　博
西仙北中央公民館長	小山田　幸　哉
中仙公民館長	榊　田　成　悦
協和公民館長	今　　辻　子
南外公民館長	佐　藤　政　利
仙北公民館長	髙　橋　明　子
太田公民館長	藤　澤　寿　史

書記

教育総務課参事　　田　口　広　龍

付議案件

議案第44号　平成２９年度大仙市一般会計補正予算（第６号）案に関する臨時代理について

吉川教育長

委員の皆様、お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日は、鈴木委員が体調を崩されたということで、欠席の届出がございました。ただ、定足数は満たしておりますので、会議は成立いたします。書記に田口参事を指名いたします。

ただいまから、平成２９年第９回大仙市教育委員会定例会を開催いたします。

前回定例会の議事録は、ただいま、委員の皆様からの署名をもって、承認していただきました。

それでは、早速、教育長報告に入らせていただきます。資料の１ページを御覧ください。

まず、学校教育関係でございますが、今年も９月７日、８日に平和中学校が被災地である大槌町吉里吉里地区を訪問し、復興花火を打ち上げてきております。

スポーツ関係では、８月２９日に大曲仙北地域の駅伝大会「田沢湖駅伝」が開催され、男女とも４チームが入賞しました。９月２４日の全県大会では、男子で大曲中が６位、女子では中仙中が４位となっております。

郡の中学校新人戦では、団体で大曲中が男女ソフトテニス・サッカー・男子卓球・男女剣道の６部門で、野球・女子卓球で仙北中、女子ソフトテニスで南外中、バレーボールで協和中、女子バスケットボールで中仙中、女子バドミントンで平和中がそれぞれ優勝しております。

文化関係では、大曲中３年生の小山杏奈さんが秋田県英語弁論大会で見事優勝し、全国大会への切符を手にしております。また、全日本吹奏楽コンクール東北大会で中仙小が金賞、四ツ屋小が銅賞を受賞しております。さらに、マーチングでは、大曲小、花館小、太田東小・太田南小合同チーム、大曲中、協和中、太田中が東北大会出場を果たしております。

次に９月の研修等ですが、９月８日、風登委員とともに県市町村教育委員会連合会及び都市教育長協議会合同研修会に参加いたしました。秋田大学の柴田健教授による「いじめの理解と対応」という講演をお聞きしました。いじめ対応へのヒントとなる貴重なお話でありましたが、いじめは個別対応ではなく「いじめの構造」を理解し、その中で全体として対応していくことが大切だと話されておりました。概要につきましては、資料として私の通信に載せてありますので、後で御覧ください。

その他、御参考までに、市内小・中学校の学習発表会及び学校祭の期日を記載した一覧表を資料ナンバー１としてお手元にお配りしております。小学校は既に終了した学校も多いですが、お時間がございましたら御参観くだされば と思います。

次に、社会教育関係でありますが、９月１日から１５日にかけて、市内１５か所で敬老会が開催されました。今年度の７６歳以上の敬老会対象者は大仙市全体で１万６，３７０人で、うち今年度８８歳の米寿をお迎えになられる方は６８７人、１００歳以上の方は５６人、最高齢の方は１０７歳でありました。

次に、文化財関係でございますが、今年も古四王神社秋の祭典が地元の皆様の協力の下、盛会に行われました。なお、今年の生涯学習情報誌「こすもす」は、文化財、特に伝統芸能や伝統行事の継承を特集する予定です。有形、無形の貴重な文化財を学校教育も通しながら、保護・継承に努めてまいりたいと思います。

社会体育関係については、今年も地域の方々と小・中学校との合同の地区運動会が９月３日に開催されました。また、第３９回目となる全県５００歳野球大会が昨年より１チーム多い１８５チームの参加を得て盛大に開催されました。

次に、安全・安心面ですが、特に大きな事故等はございませんでした。

以上で、私からの報告を終わります。

それでは、次に各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきます。まず、教育総務課長、お願いします。

教育総務課長

資料は、３ページになります。教育総務課は、４項目掲載しております。いずれも定例的な会議の内容となっております。以上であります。

吉川教育長

次に、教育指導課長、お願いします。

教育指導課長

教育指導課からは、１２項目紹介しております。その中で「心のバリアフリー交流会」について、御報告申し上げます。

９月１４日、大曲西中を会場に車いすバスケットボールクラブの５人をお招きして大曲西中３年生２５人と交流会を行いました。初めは苦手なような様子もありましたが、大変楽しく有意義な会になったと伝え聞いています。

それから、この報告にはございませんが、現在、大仙ふるさと博士育成事業で上級認定者が５人まで増えたといううれしいニュースも届いております。以上であります。

吉川教育長

次に、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長

生涯学習課は、御覧の１０項目を挙げております。このうち、「こすもす座談会」についてです。先ほど教育長からも触れていただきましたが、今年の生涯学習情報誌「こすもす」は「祭りと芸能」をテーマとして１２月に発行する予定です。９月２７日に市長、教育長、祭りと芸能の関係者５人で、これをテーマに座談会を開催しております。その内容につきましても、「こすもす」に掲載する予定です。

それから、前回の定例会で、工藤委員から公民館等で耐震基準を満たしていないものはどれくらいあるのかといった御質問がございましたが、今回、資料ナンバー４として生涯学習施設等の一覧表をお配りしております。昭和５６年以前に建てられたものが耐震基準を満たしていない可能性のある建物ということになります。以上でございます。

吉川教育長

そうすると、どれくらいあることになりますか。

生涯学習課長
　昭和５６年以前の建物については耐震基準を満たしていない可能性がありますが、耐震診断をしないとはっきりとしたことは分かりません。今後につきましては、建設部や財政当局と協議していく予定であります。

生涯学習部長
　現在、耐震診断は進行中でありまして、基準を満たしていないとはっきり結論が出ているのは西仙北中央公民館ということになります。

吉川教育長
　分かりました。次に、文化財保護課長、お願いします。

文化財保護課長
　文化財保護課は、４項目記載のとおりでございます。以上です。

吉川教育長
　次に、スポーツ振興課長、お願いします。

スポーツ振興課長
　スポーツ振興課は、３項目でございます。第３９回全県５００歳野球大会は大会三日目に台風に見舞われまして１日順延いたしましたが、お陰様で無事大会を終了することができました。この場をお借りしまして御協力いただきました皆様に御礼申し上げます。
　また、秋田２５市町村対抗駅伝ふるさとランについてですが、９月２１日に事務担当者会議に出席しております。いよいよ明日開会式、あさって号砲ということで、昨年の順位が１４位ですので、少しでも順位を上げたいと思っております。応援をよろしくお願いします。以上です。

吉川教育長
　会場は、男鹿ですね。次に、学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長
　学校給食総合センターは、３項目記載のとおりです。以上です。

吉川教育長
　次に、総合図書館長、お願いします。

総合図書館長
　総合図書館は、７項目記載しております。この中の「大曲古文書解読研究会・大曲史談会合同視察研修」についてです。大曲古文書解読研究会の会長をはじめとした１４名の方

々、それから、大曲史談会の会員の方々との合同の研修視察を９月６日に実施しております。川連漆器伝統工芸館などを見学する研修を実施しております。以上です。

吉川教育長
　次に、総合市民会館長、お願いします。

総合市民会館長
　総合市民会館は、３項目記載のとおりです。以上です。

吉川教育長
　次に、花館公民館長、お願いいたします。

花館公民館長
　花館公民館は、１１項目記載のとおりです。以上です。

吉川教育長
　次に、神岡中央公民館長、お願いします。

神岡中央公民館長
　神岡中央公民館は、５項目記載のとおりです。以上です。

吉川教育長
　次に、西仙北中央公民館長、お願いします。

西仙北中央公民館長
　西仙北中央公民館は１０項目記載しておりますが、会議等が主な内容となっておりまして、記載のとおりでございます。

吉川教育長
　次に、中仙公民館長、お願いします。

中仙公民館長
　中仙公民館からは、１１項目挙げております。小学６年生を対象とした「表装体験教室」の前半、２校が終了しております。残りの２校については、１０月に行う予定です。以上です。

吉川教育長
　次に、協和公民館長、お願いします。

協和公民館長

協和公民館は、８項目記載のとおりであります。以上です。

吉川教育長
次に、南外公民館長、お願いします。

南外公民館長
南外公民館は、５項目記載のとおりです。以上です。

吉川教育長
次に、仙北公民館長、お願いします。

仙北公民館長
仙北公民館は、９項目記載のとおりであります。以上です。

吉川教育長
次に、太田公民館長、お願いします。

太田公民館長
太田公民館は、１３項目掲載しております。この中で「第２２回民謡『秋田おはら節』全国大会」について報告させていただきます。出場者は８１名であり、北は岩手県から南は滋賀県までの方々から登録がありました。大仙市からは１０名が出場しております。優勝者は、男鹿市の高校生でした。以上であります。

吉川教育長
はい、ありがとうございました。以上、各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきました。ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いいたします。

髙見委員
太田公民館から「秋田おはら節全国大会」の御案内をいただいて、正直、民謡にはあまり興味がなかったんですが、行ってまいりました。
初めて民謡について分かったこともありましたし、こういう機会をいただいてありがとうございました。
民謡の裾野を広げるために子供たちになるべく伝承していかないと、人口が減っているのでといった来賓の方のお話がありました。学校では民謡などに触れるような機会とか、部活動といったものがあるものでしょうか。
私自身も行ったことがなかったんですが、家のお婆さんを誘って行ってみて初めて、民謡ってこういうものなんだなと気づかせていただきました。もしかしたら、子供たちもそういうことがあるのではないかなと思ったところです。いかがでしょうか。

吉川教育長
　民謡を、各クラブ活動とか、あるいは放課後の活動で行っている学校はありますか。

教育指導課長
　民謡を歌うってことではないんですが、豊川小学校では円満造甚句、ドンパン節の元々の形ではないかといわれるものを伝承して踊ったりしています。また、清水小学校では黒土神楽を子供たちの力で復活し、下の学年、下の学年へと伝えているところであります。

教育指導部長
　中仙小でもドンパン祭りに合わせて、はっきり記憶しておりませんけれども、クラブ活動でやったものを披露していると聞いたことがあります。

吉川教育長
　例えば、角間川の盆踊りは大曲南中の生徒が練習しているでしょうし、そういったのは結構あるんですが、民謡そのものを各学校で教えたりというのは記憶にないです。ただ、好きな子は民謡教室みたいなところに行って練習しているようです。

髙見委員
　分かりました。

吉川教育長
　ほかにございませんか。

工藤委員
　ふるさと博士育成事業について、ちょっと教えてほしいんですけど。これは、教育委員会のホームページを見ると、いついつ、どこで、定員はいくらでといったことは見れるんですけど、そうじゃないのもありますよね。あれが全てですか。

教育指導課長
　ホームページにあるものだけポイントをもらえるということではなくて、自分たちで地域の行事であるとか、あるいは奉仕作業に参加するということでもポイントが付きます。むしろ、それが子供たちの力となるのでは考えております。

工藤委員
　それを判断するのは、誰でしょうか。

教育指導課長
　子供たちが自己申告で学校に提出します。それを担任等が事業の趣旨にあったものかチェックしています。

工藤委員
　あくまでも自己申告ですね。もしかしたら、落としている部分が結構多いのかなと思っています。

教育指導課長
　各学校には、ホームページにあるものに限らず、ふるさと博士事業の趣旨に沿ったものであればポイント対象になりますよということは、教育委員会の担当から各学校に周知しています。

工藤委員
　学校側からは、ホームページ以外のものでもポイント対象となる詳しい内容までは聞かされてなくて、落としているものがすごく多いんじゃないかと、もうちょっと周知徹底した方がいいのかなと思っているところです。

教育指導課長
　そうですね。各学校において、地域の様々な行事やイベントについてもポイントの対象であるということを、積極的にお知らせするよう検討してまいりたいと思います。

吉川教育長
　いずれ、学校からの宣伝について若干温度差があるようです。学校訪問するたびに、きちんとコーナーを設けて奨励するようにお願いしているんですが、なかなかそこまでいっていない学校があるかもしれません。いずれ、もうちょっと、がんばってほしいというところもあるようですので、啓蒙してまいりたいと思います。

風登委員
　関連してよろしいですか。中学生サミットのとき、上級認定者が第１号ということでしたよね。先ほどの報告だと５名となっていることですが、学校によってばらつきがあるものですか。それと、順調に増えていきそうな気がするんですけれども、見通しはどうなんでしょうか。

教育指導課長
　各学校から集計結果が順次上がってきます。期限を決めて報告をいただいている形ではないものですから、集計の済んだ学校から教育委員会に上がってきます。現在の上級は、中学校から１名、花館小、神岡小からそれぞれ１名、四ツ屋小から２名というような状況であります。

風登委員
　分かりました。

吉川教育長

ほかにございませんか。

各委員（なし）

吉川教育長
それでは、これで教育長報告を終わらせていただきます。
次に、付議案件に入ります。
議案第４４号「平成２９年度大仙市一般会計補正予算（第６号）案に関する臨時代理について」を議題といたします。教育総務課とスポーツ振興課の所管になりますが、教育総務課長、スポーツ振興課長の順に報告をお願いします。

教育総務課長
議案第４４号「平成２９年度大仙市一般会計補正予算（第６号）案に関する臨時代理について」報告いたします。資料は、１０ページからになります。
本案は、この補正予算案を市長が議会に提案するに当たり、教育委員会の意見を求められましたが、教育委員会を招集する時間的余裕がなかったことから、大仙市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第３条第１項の規定により、教育長が臨時代理として同意したため、同条第２項の規定によりこれを報告し、承認を求めるものであります。
資料の１２ページを御覧ください。はじめに、今回の補正予算案の概要について、御説明申し上げます。11款 災害復旧費　５項 文教施設災害復旧費に 2,518万2,000円を補正し、補正後の額を2,600万6,000円としたものであります。
各事業につきましては、課ごとに事業説明書で説明させていただきます。
はじめに、教育総務課所管分についてであります。１３ページを御覧ください。
今年７月２２日から２３日にかけての豪雨災害により、協和中学校の野球グラウンドの擁壁を含む法面が一部崩落したことに伴い、復旧作業に要する経費1,615万3,000円を計上したものであります。
「４の改善」の欄を御覧ください。内訳ですが、法面測量設計業務委託料として183万6,000円、法面復旧工事費として1,400万1,000円、立ち木92本分の補償費として31万6,000円を計上しております。
財源につきましては、市債が1,580万円、一般財源が35万3,000円となっております。
以上、教育総務課所管分についての説明を終わります。

スポーツ振興課長
それでは、スポーツ振興課所管分について、御説明申し上げます。資料は１４ページになります。
これは、本年７月２２日からの大雨により被災したスポーツ施設について、早急に復旧し、利用者の安全と安心を確保するため、被災した４項目についての復旧に要する経費902万9,000円を補正したものであります。
内訳といたしましては、４の事業概要を御覧願います。
はじめに、中川原グラウンドですが、野球場部分の流出された表土のクレイ舗装3,030

平方メートルに掛かる経費が605万2,000円、同じくグラウンド内にある公衆トイレブース２か所の張替修繕に掛かる費用が40万円となっております。
　次に、中川原運動公園グラウンドゴルフ場園路と縁石の再整備、サッカー場フェンスの布設替え、張り芝の復旧に掛かる工事費用が189万1,000円、同じくグラウンドゴルフ場内にある公衆トイレの床、天井、外壁、配管、ブースの張り替えや再取付に掛かる費用が68万6,000円、合わせて902万9,000円を補正したものであります。
　財源につきましては、国庫支出金が451万4,000円、市債が450万円、一般財源が1万5,000円となっております。
　利用者の安全・安心と、利便性を速やかに確保するため、早急な復旧を目指しております。
　以上、御報告いたしましたが、よろしく御審議の上、御承認賜わりますようお願いいたします。

吉川教育長
　補足いたしますと、この予算案は９月議会中に追加提案されたもので、議会において可決され、予算は成立しております。
　ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

各委員（なし）

吉川教育長
　皆様、よろしいでしょうか。本案は報告どおり承認することに御異議ございませんか。

各委員　（異議なし）

吉川教育長
　それでは、異議なしと認め、本案は報告どおり承認することとします。
　以上で、付議案件の審議を終わります。
　次に、次第の５番その他に入らせていただきます。
　はじめに、先月末、平成２９年度の全国学力・学習状況調査について、文部科学省から調査結果が公表されましたので、本市の状況も含め皆様に報告させていただきます。教育研究所長、報告をお願いします。

教育研究所長
　今年度の全国学力・学習状況調査の結果が、８月２８日午後５時、文部科学省から公表されましたので、皆様に調査結果等について報告いたします。資料ナンバー２を御覧ください。よろしくお願いいたします。
　本調査は４月１８日に小学６年生と中学３年生を対象に、小学校は国語・算数、中学校は国語・数学の２教科で実施されたものであります。
　本調査の実施内容につきましては、児童生徒に対する「教科に関する調査」に加え、「生

活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」の２種類となっております。質問紙調査は児童生徒が回答する調査と、学校の管理職等が指導方法や学習指導全般に関する整備状況等について回答する調査の２種類があります。

全国及び本県との比較における本市の状況は、「教科に関する調査」及び「生活習慣や学習環境に関する質問紙調査」のいずれの結果からも、小・中学校共に良好な状況が維持されているものと捉えております。

はじめに「教科に関する調査」についてであります。資料１ページのグラフを御覧ください。グラフの３本の柱は、左が大仙市、中が秋田県、右が全国の正答率を示しております。

小・中学校共に、ほとんどの教科において全国及び本県の平均正答率を上回っており、中学校数学Ｂが本県の平均正答率をわずかに下回りますが、ほぼ同程度であることから、おおむね良好な状況にあると捉えております。

このことにつきましては、小・中連携による９年間を見通した学習指導の充実を図るとともに、各学校における組織的な研究体制の下、児童生徒主体の学習が一層進められていることが基盤になっていると捉えております。

また、各学校においては、個に応じた指導等により基礎学力の定着を図るとともに、根拠を基に自分の考えを述べたり、対話的な学び合い等で自分の考えを深めたりしながら活用する力を育成するための授業改善を積極的に進めていることも成果として挙げられます。

次に、資料２ページを御覧ください。「生活習慣・学習環境に関する調査」についてであります。

児童質問紙の結果からは、小・中学校共に、ほとんどの質問項目において全国及び本県の平均を上回っており、本市の児童生徒は、望ましい生活環境の中で基本的生活習慣及び学習習慣を確立し、意欲的に学習に取り組むことができております。

また、各学校では、学校生活の中で達成感や自己有用感をもたせる機会と場の充実を図ることで、学ぶ意欲を育むとともに、地域人材の活用等、開かれた学校づくりを積極的に進めていることも成果として挙げられます。併せて、家庭や地域が、好ましい関わりをもって児童生徒の成長を支え、学校の方針等に建設的な協力をしてくださっていることも本市の強みであります。

資料２ページの中段のグラフを御覧ください。質問について、「当てはまる」又は「どちらかといえば当てはまる」と回答した大仙市の割合を本県及び全国との差で表したものであります。

ほとんどの項目において、小・中学校共に良好な状況が維持されているものと捉えておりますが、一部、小学生の家や図書館での読書時間、中学生のテレビゲームの時間、地域でのボランティア活動への参加についての回答が本県又は全国をやや下回っており、課題と捉えております。

資料２ページ下段のグラフは、現在、中学３年生が平成２６年度に小学６年生として本調査の質問紙に回答した項目のうち、向上が見られるものを表しております。特徴としては、家庭学習や読書の時間を以前より確保するなど、家庭における時間を有効に活用しようとする傾向が顕著に見られます。また、生徒主体の授業や活用する力の育成に関わる授

業の取組状況で伸びが見られること、更に地域や社会で起こっている問題や出来事への関心が高まっていることなどから、中学校における授業改善への積極的な取組と共に、地域活性化に寄与できる生徒の育成が進められていることなどが伺えます。

次に、資料３ページ中段のグラフを御覧ください。続いて、学校質問紙の回答状況について御説明いたします。

学習指導、生き方に関わる指導、研修、本調査の結果分析を当該学年のみならず、学校全体で授業改善や学力向上に役立てていることなどについては、小・中学校共に全国及び本県平均を上回っている質問項目が多く、学校の積極的な取組及びその姿勢が伺えます。さらには、近隣の小・中学校との分析結果の共有や研修も進んでおり、小・中学校の望ましい連携も図られております。

「学力向上の取組を保護者へ公表」、「地域人材・地域素材・地域の施設の活用」に関しても、小・中学校共に全国及び本県の平均を上回っており、開かれた学校づくりが引き続き積極的に進められております。

今後は、本調査結果の更なる分析を進めるとともに、校長会及び教頭会において、成果と課題などについて検証し、授業改善に結び付くサイクルを確立できるよう丁寧に説明してまいります。また、児童生徒一人一人の課題の改善状況を点検するフォローアップシートや指導方法の改善に生かす資料等を今後も提示し、基礎・基本の更なる定着を図るとともに、小・中９年間を見通した学習指導、生き方に関わる指導を一層充実させ、幼保・高・大との連携も積極的に推進し、「総合的な学力」を身に付けた児童生徒の育成を目指して、各学校の取組を引き続き支援してまいります。

これで報告を終わります。

吉川教育長

はい、ありがとうございました。今年の結果については、ただいま、報告させていただいたとおりです。ふるさと博士関連で、地域行事への参加という設問を比較しますと、国をポイント化すると本市は２０ポイントも高いです。それから、県の平均からすると、小学校で５ポイント、中学校で１０ポイントも高い結果が出ています。「学校が楽しい」という設問でも、小学校になりますが、国が８６パーセント、本市は９４パーセント、県の平均からも４ポイント上回っております。中学校でも国の平均から１０ポイント高い９０パーセント超えをしています。県の平均からも５ポイント上回っております。

おおむね、子供たちは地域においても、あるいは学校においても、ある程度意欲を持って生活しているのではないかと思っています。

ただ、中学校の数学がちょっと弱かったので、指導主事が各校を回って指導しているところであります。

学校訪問もあって、中島委員も髙見委員もいくつか回られましたが、いかがなものですか。

髙見委員

初めて大川西根小学校に行かせていただきました。南外地域の学校しか見たことがなかったので、子どもの話を聞く姿勢だとか学校ごとに違いがあるんだなということが分かり

ました。
　それから、学校訪問の際にも話させていただいたんですが、大川西根小学校は地域とのつながりということでミュージカルがすごく有名ですが、逆にこれが負担になっている子供はいないのかなと思ったりしました。音楽は苦手だけど、運動が得意でスポーツがしたい子供とかがいるのではないかと思ったりして心配になりました。
　例えば、台本を作ったりすることを少し地域に下ろしてというか、地域とのつながりということも大仙メソッドにありますので、学校じゃないところに下ろしたりして、肩の力を抜いてできるのではないのかなと思って見てまいりました。

吉川教育長
　中島委員は花館小学校を訪問されましたが、いかがだったでしょうか。

中島委員
　自分の子供も花館小学校出身なんですけれども、授業参観などは忙しくて１回も行ったことがありませんでした。自分が小学校を卒業して以来、小学校の授業を見るということがなかったので、昭和の時代の授業とは全然違うなと思いました。昔は、ただ座って先生の話を聞いて覚えるというスタイルだったと思うんですが、今はグループ討議したり、主体的に学んだりしてて、楽しそうに生き生き勉強している姿を見ていいなと思いました。
　「全国学力・学習調査」を見て、すごく大仙市が良くてびっくりしたんですけれども、そういう教育の効果なのかなと思ったところです。これは、今年だけ良かったんじゃなくて毎年こうなんですか。

吉川教育長
　はい、毎年、おおむね良好です。

中島委員
　教育関係者の皆様の努力が素晴らしいと感心しました。

吉川教育長
　はい、ありがとうございました。髙見委員からもお話があったんですが、長い歴史もあるので続けていかなければいけないということもあるかもしれませんが、児童数も減ってきていますし、地域の状況も変わってきています。それに合わせた形で、学校行事も変えていかなければならないのかなと思っております。そういう点を校長も十分認識しながら、考えているようです。
　ほかにございませんか。

風登委員
　コンスタントに結果が良好なので、大変喜ばしいことだと思います。大仙市には小学校が２１校、中学校が１１校ありますが、突出して良い結果が出ている学校とか、芳しくない学校とかあるんでしょうか。

教育研究所長
　残念ながら、学校によっては、ばらつきはございます。県の平均をかなり上回っている学校もありますし、下回っているところもございます。ただ、子供たちの人数にもよりますし、発達障害の子供たちも通常学級に入って一緒に勉強している学校もあります。授業を見てもそんなに感じないんですが、日々の積み重ねの中でもなかなか学習が身につかない子供がいるという事情から平均点が上がらない学校もございます。

吉川教育長
　小学校、中学校とも、この後、頑張ってもらいたいなという学校がございます。そうした学校については、特に私の方から、今後どのような改善を考えているのか聞いて、頑張っていただいています。
　いずれ、この後、県の学習状況調査がございますので、それを見て頑張り具合を判断したいと思います。

風登委員
　はい、分かりました。

吉川教育長
　それでは、「全国学力・学習状況調査」については、よろしいでしょうか。
　次に、「平成２９年度公開授業研究会等の日程」について、引き続き、教育研究所長から説明をお願いします。

教育研究所長
　資料は、資料ナンバー３でございます。「平成２９年度公開授業研究会等」につきまして、御案内いたします。
　本年１０月、１１月に開催されます公開授業研究会等の日程をお示ししております。
　関係の皆様には多数御参加いただき、御指導賜りたく御案内申し上げます。
　ちなみに、１０月１８日の東大曲小学校での公開授業研究会では、６年担任と国際教養大学教授によるオールイングリッシュの外国語活動の授業を公開いたします。また、１１月２２日の大曲南中学校での公開授業研究会では、市のＰＴＡ連合会の研修ともなっております。全市から保護者の方も御覧いただくことになっておりますので、お出でいただきまして御指導いただければと思っております。
　なお、申込手続等はこちらで行いますので、参加を希望なさる方は、教育研究所まで御連絡くださいますようお願いいたします。以上でございます。

吉川教育長
　このほかにも、協和支所で小中学生を対象とした地域活性化に関する事業も行うようですが、紹介していただけますか。

教育指導部長
　１０月７日午後に「協和フォーラム」ということで和ピアで開催されます。内容についてですが、中学生による地域活性化のアイデア提案というものを協和支所で考えておりまして、その提案自体は来年度と伺っております。その前段階として今年度は、協和の地域で頑張っていらっしゃる方の話を聞いたりして、知識とか、視野を広げるということを行うということのようです。午前中は合唱コンクールを行って、午後から中学生が全員参加すると聞いております。小学校にも案内状を出して親子で参加ということを呼びかけているようです。

吉川教育長
　副市長と私も「フォーラム」の方に参加させていただきますが、こういうイベントは今まで聞いたことがないんですが、毎年、実施しているものですか。

教育指導部長
　今年、初めてだそうです。

吉川教育長
　初めてですよね。これは協和支所の事業ですが、学校でも地域活性化に寄与できる子供を育成しようとしていますので、協和支所の動きを参考にしながら、もし、できるのであれば、学校行事と組み合わせた感じでやれればと思います。
　それでは、「公開授業研究会等」については、以上とさせていただきます。
　ほかに、皆様方から何かございませんでしょうか。

（なし）

吉川教育長
　ないようですので、教育総務課長から次回の日程についてお願いします。

教育総務課長
　１０月の定例会の日程についてであります。１０月は委員研修の実施と移動教育委員会を考えております。まず、委員研修ですが、１０月２０日金曜日午後２時３０分から西仙北地域強首地区の「大仙市アーカイブズ」を見学いたしまして、刈和野地区で西仙北中学校の生徒が運営している「ハブスペース」を視察したいと思っております。その後、定例会を午後４時から西仙北中央公民館で開催したいと思っております。御検討をよろしくお願いいたします。

吉川教育長
　１０月２０日金曜日の午後２時３０分から、強首にあります「大仙市アーカイブズ」、と刈和野の「ハブスペース」を視察、その後、午後４時から西仙北中央公民館で定例会を開催したいということでございます。御都合は、いかがでしょうか。

各委員（異議なし）

吉川教育長
　ありがとうございます。では、次回の定例会は、そのようにさせていただきます。また、視察研修の詳しい日程等については、後日、通知を差し上げたいと思います。
　本日の日程は、全て終了いたしました。以上で、定例会を閉じさせていただきます。
　ありがとうございました。